

みと・あかつかカンファレンス

差出人: みと・あかつかカンファレンス <admin@kankan2025.jp>
送信日時: 2019年4月8日月曜日 23:35
宛先: 'jstkoho@jst.go.jp'; 'crest@jst.go.jp'; 'kenkyuk-ask@amed.go.jp';
'umemoto@ongene.med.osaka-u.ac.jp'; 'ktakeda@ongene.med.osaka-u.ac.jp';
'medpr@office.med.osaka-u.ac.jp'; 'jbs-ho@jbsoc.or.jp'
CC: '日本栄養士会'; '日本医師会'; '日本薬剤師会'; '日本歯科医師会'; '日本看護協会'; '日本理学療法士協会'; '日本作業療法士協会'; '日本社会福祉士会'; '日本介護福祉士会'; '立川 晶'; '朝倉 洋';
'生田 弦己'; '江川 剛正'; '佐藤 仁彦'; '越田 普之'; '平野 有紀'; '大林 広樹'; '茨城県警察本部';
'クローズアップ現代 +'; '湯川 英俊'; '池田 剛士'
件名: 通達（みと・あかつかカンファレンス）*メディア対策室；安倍晋三 首相案件（ムチン騒乱）【信用失墜行為】#大阪府吹田市

国立大学法人大阪大学 大学院医学系研究科
免疫制御学／免疫学フロンティア研究センター 御中

学術秘書
池田です。

検事総長に指示し、騒乱罪（刑法 106 条）で公訴いたします。

腸内細菌の大腸組織侵入を防ぐメカニズムを解明 ～潰瘍性大腸炎の新たな治療薬開発に期待～

制しているかは不明だった。
を制御することを発見。

フロンティア研究センターの奥村 龍 特任研究員、竹田 潔 教授らのグループは、腸管上皮細胞

原因の一つとして、腸管上皮によって主に形成される腸管粘膜バリア^{注5)}の破綻が考えられてい
入できないことがわかっていますが、どのように細菌の侵入を抑えているかはよくわかっていま
遺伝子を欠損したマウスを作製しました。野生型マウスでは腸管の内粘液層はほぼ無菌状態に保
発症することを見出しました。また、L y p d 8は高度に糖鎖で修飾されるG P Iアンカー型蛋

療開発が急務とされています。今後、L y p d 8蛋白質の補充療法などの粘膜バリア増強による
誌「Nature」のオンライン版で公開されます。

<https://www.jst.go.jp/pr/announce/20160331/index.html>

理由：

<https://www.kitasato-u.ac.jp/sci/univ/chemistry/news/n20190125.html>

<http://nokyoko.jp/#norioka>

<http://acsec.co.jp/#首謀者>

では。

この件に関するお問い合わせ先：

みと・あかつかカンファレンス事務局長

ラクトース研究班「いもいち 2025」班長代理

有限会社学術秘書

本店営業部

池田剛士

〒311-4141

茨城県水戸市赤塚 1-386-1-107

電話：029-254-7189

携帯：090-4134-7927

追補：訂正報道新着

<http://kankan2025.jp/>